新潟国体カラー

健康・清潔・親切

国体シリーズ ⑪

新潟国体は、昭和三十九年六月に若人の祭典として、全国から数万人を集め盛大に開かれます。この新潟国体を美しい三つの色のシンフォニーをバックに、より華やかなものにしようと一新潟県の健康・清潔・親切の三つの色調のテーマから選んだものです。

きいろ　は、県民一人一人がみんなで、スポーツを楽しみ健康な身体をつくろうという。

あかちゃいおお　は、県民一致で盛りあげてゆきたいと思います。

だいだい　は、全国から来る人達を暖かく迎える気持を、あらわしたものです。

これらの三色が、これからポスター、人間体、商店街、広告などに、いろいろなものに広く利用されたり、また県民一人一人が健康・清潔・親切の三つの草刈をくしたちの環境を清潔にし明るく住みよい新潟県をつくろうという。

岡山国体での花いっぱい運動

岡山国体を視察

第十七回国体（岡山）は数多くの新記録や、思い出を残して大成功のうちに閉幕されました。新潟市として来るべき国体のために、大会運営、受け入れ体制、競技施設等の視察のため二十四名を派遣しました。視察員として参加した構成メンバーは次のとおりです。

市議会、市役所、教育委員会、公民館、小・中学校、体育関係、婦人関係、商店街連合会、国体事務局（順不同）

特別会計　昭和37年度定期業務監査結果

昭和三十七年度定期業務監査の結果を地方自治法の規定により次のとおり報告し併せて公表いたします。

記

一、監査の名称
昭和三十七年度定期業務監査

二、監査の日時
昭和三十七年八月一日から昭和三十七年八月三十日まで

三、監査の対象
特別会計、国民健康保険、公営住宅建設、屠畜場、水道課

四、監査の意点と方法
監査の眼点は事業の運営活動が常に高度な社会的責務感と公共的使命の姿勢で進められ、しかもそのうちにも企業的感覚による経済活性を保持しているかどうか、さらにその事務処理改善における正確性、合理性、適法性等あらゆる内容にから検討を加えるとともに結果に誤つて非現事項が、現在及び将来のための改善施策に有効な資料となることに重点を置いた。

なお監査の方法については直接事務現場で、帳類監査及び運営の実績検証、それに努めて多くの職員を招集して事務の説明を求めるなど一般に公平妥当と思われる方法で実施した。

監査の結果とこれに基づくべき意見

総括

現在市には国保、介護保険、住民税、水道、恩給、住民税賦課徴収金の六特別会計を設けて特別行政事業を行なっているが、本監査において注目されたことは特にこのうちから社会性が強く市民生活に直結した国保、水道、屠畜場、屠場の四特別会計について行なったわけである。

普通、特別会計の設置目的は一般会計と違って経営上の支出とが事業の本質にそぐない場合、つまり特定の事業又は資金を特定行政収入、特別会計として処理することがむしろ有効的に運用が出来る場合にある。しかもこの運営の基本理念として報告し併せて公表いたします。

1、業務運営の主体性確立が必要

国保事務が四課で分掌されていることは上述のとおりだが、このことは事務の円滑を阻害するやのセクト主義的独立性が表面化し、その結果協調性を欠き物の不体裁見失なうことになる。もちろんこんどの改革はこれらの弊害を除去するためであり、共優越の意識を受けて不足なく、特定的の場合の事務の円滑